

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
間嶋 健	B312	ken.majima	水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> ソーシャルワークの面接と記録の目的・方法に関する理解と基礎的な技術の習得することを目的とする。</p> <p><概要> 支援を必要としている本人だけでなく、その人を取り巻く環境や地域社会に働きかけていくために実践上で求められる知識や方法について理解を深めるため、教科書や資料をもとにグループワークを取り入れた講義を行う。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	授業で取り上げる各内容について系統立てて整理し、学習を進めること。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目] /編:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークの面接の目的と方法を理解し、基礎的技術を習得できる。			HSU(1)～(3)、HC(1)～(4)	
②	ソーシャルワークの記録の目的と方法を理解し、基礎的技術を習得できる。			HSU(1)、(2)、(4)、HC(1)、(3)、(4)	
③	ソーシャルワークのアプローチ方法を理解し、説明できる。			HSU(1)～(4)、HC(1)～(3)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法を理解する。	同時双方向型授業	シラバスを精読する。	4	
2	[ソーシャルワークの面接①] 面接の意義と目的、方法、留意点についてバイスティックの7原則から学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4	
3	[ソーシャルワークの面接②] 面接の技法についてバイスティックの7原則から学ぶ。	同時双方向型授業		4	
4	[ソーシャルワークの記録①] 記録の意義と目的、記録の内容について学ぶ。SOAP で実践を記述する。	同時双方向型授業		教科書の該当章を精読する。	4
5	[ソーシャルワークの記録②] 記録の作成方法について学ぶ。SOAP で実践を記述する。	同時双方向型授業	4		
6	[ケアマネジメント (ケースマネジメント) ①障害分野] ケアマネジメント (ケースマネジメント) の原則、意義と方法について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4	
7	[ケアマネジメント (ケースマネジメント) ②障害分野] ケアマネジメント (ケースマネジメント) の原則、意義と方法について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4	
8	[ケアマネジメント (ケースマネジメント) ③障害分野] ケアマネジメント (ケースマネジメント) の原則、意義と方法について学ぶ。	同時双方向型授業		4	
9	[コミュニティワーク①] コミュニティワークについて学ぶ(市民活動と地域計画)。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4	
10	[コミュニティワーク②] コミュニティワークの理論的系譜とモデルについて市民活動と地域計画から学ぶ。	同時双方向型授業		4	
11	[ソーシャルアドミンストレーション] ソーシャルアドミンストレーションの概念と意義、組織介入・組織改善の実践モデル、組織運営における財源の確保について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4	
12	[ソーシャルアクション①] ソーシャルアクションの概念と意義について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4	
13	[ソーシャルアクション②] コミュニティ・オーガナイズングについて学ぶ。	同時双方向型授業		4	
14	[スーパービジョンとコンサルテーション] スーパービジョンの意義・目的・方法、コンサルテーションの意義・目的・方法について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

15	[まとめ] 授業全体の総括を行う。	同時双方向型授業	これまでの授業内容を復習する。	4					
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		50	0	0	0	50	100		
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60		
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～⑤について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。				正答や模範解答を Teams で公表する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
その他	①	✓	授業への取り組み状況等を確認し、評価する。 リアクションペーパーや提出課題の内容を評価する。				次回授業時にフィードバックを行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
備 考									
他 担 当 教 員	なし								
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 21 年の実践経験を有する。								
実践的授業の内容	教員自身の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業（オンライン授業）を行なう。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 ・ 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験希望者は必ず履修すること ・ 生成 AI の使用については、課題に応じて随時教員より使用/不使用の指示をする。 								